

◇ 宮 城 貢 議員

○ 7 番（宮城 貢） まず、教育長に質問いたします。

奨学金制度について。①本年度、大宜味村育英資金貸付制度の予算と予定人数及び現在の申込み状況を伺います。

②給付型奨学金制度についての取組状況はいかがですか。

村長に伺います。コロナウイルス問題の施策について。①コロナウイルス問題で、村内の現況をどのように把握しているか。施策の取組状況と今後の展望を伺います。

②ワクチン接種について、現在の取組状況と今後のタイムスケジュールを伺います。

3 番目に、村行政全般について村長に伺います。

広報 2 月号 4 ページの令和 3 年度会計年度任用職員募集について、現在の各職種の採用状況はいかがですか。以上です。

○ 村長（宮城功光） 2 番目の①村内においてこれまで 13 名のコロナウイルス感染者が発生しています。昨年度からコロナ対策として様々な施策を行っていますが、現時点においては村民のワクチン接種を最優先事項として全庁体制で取り組んでおります。

②については、5 月 20 日から高齢者向けのワクチン接種を行っており、

6月11日時点で740名の方が1回目の接種を受けています。今後の予定といたしましては、6月24日に第3グループの接種、6月下旬からは診療所において個別接種、特に疾患のある方を優先に順次調整しているところであります。

3の①につきまして、村では、令和2年度から会計年度任用職員制度に移行し運用しております。令和3年度の募集については、必要人数55人に対し50名の採用となっております。

○ 教育長（米須邦雄） 奨学金制度についてお答えします。

まず、予算関係ですが、現在は、今年度の貸付金の予算は378万円で、現在の貸付件数は5件です。それから令和3年度の見込みとしては3件を予定しております。

あと給付型についてですが、この件は前回は答弁いたしましたが、給付型の奨学金につきましては、育英資金の原資の関係で、現段階では給付型は厳しいかというふうに考えております。以上です。

○ 7番（宮城 貢） 教育長にお聞きいたします。

今の教育関係の予算の件ですが、平成二十五、六年ですか、ふるさと納税が始まったと思います。その頃からふるさと納税で教育関係も当然項目がありますが、それによって予算というか、教育予算のほうに何と云うか、

ふるさと納税のほうから教育予算のほうに行くということはないですか。

○ 教育課長（宮城 豊） お答えします。

今は、教育予算に関しては、振り分けは教育予算に関してはあるとは思
うんですけども、今の育英会についての議員の質問だと思うんですが、
育英会に積み立てられているお金としてはございません。

○ 7番（宮城 貢） お聞きいたします。教育委員会のほうで取り扱っ
ている奨学金制度というのは、この育英資金だけでよろしいのでしょうか。

○ 教育課長（宮城 豊） 貸し付けに関しては、この育英資金だけでご
ざいます。

○ 7番（宮城 貢） 村長のほうに伺います。

コロナウイルス問題の施策についてですが、今、村内村民、あと村内業
者からの声、特にビジターセンターとか観光協会からの要請とか、またそ
ういう声が上がっているのかどうかお聞きいたします。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたしま
す。

昨年度は、持続化給付金とかということで、当初は相談件数が十数件あ
ってということでの答弁もさせていただいたものがありますが、最近では、
なかなか相談というものは直接来ることはありません。ただし、国、県の

事業で、セーフティーネットとか貸し付けの分野でなかなか手続きが分からないものとか、そういった相談が1か月に1件あるかないかぐらいの相談が来たりしていますが、この観光協会とかビジターセンターとかというところでは、感染対策についての相談とか、一緒になって取り組もうというようなことでの話し合いを進めているんですが、こういうことをしてほしいとかという要望はなかなかないと。ただ、我々が今想定しているコロナ交付金を活用した事業ですね、今回の補正でも対応させていただきたいと思いますが、地域振興券とかクーポン事業ですね、そういったもので一緒になって取り組んでいこうということでしております。

○ 7番（宮城 貢） 今後の施策のほうが出てくると思いますし、あと村独自の施策というのはございますか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

国、県が進める事業といたしましては、Go Toキャンペーンとかそういったものがありますが、我々大宜味村としては地域振興券独自ですし、あとクーポンも独自に開発した、設定した事業となっております。

○ 7番（宮城 貢） コロナウイルス問題に対する施策の評価、3月までの、前年度になりますが、それをまた今年度、これから進める意味で、

その評価というのはどのように感じられているのか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

昨年度はコロナウイルスの地方創生対応の交付金のほうを活用させていただいて、30、40、すみません正確な数字は分からないのですが、多くの事業をさせていただきました。その中においては感染対策の事業というものが多くございましたし、また経済対策の事業も多くございました。その中で、特に全国的にも言われている観光事業の関係者ですね、あと飲食関係の事業者というものがかなり窮地に追い込まれているという状況があって、大宜味村内でもそこが少ない事業者であるのもあるんですが、やはり窮地に追い込まれている事業者もあるという情報もありました。その中でクーポン事業とか地域振興券事業が発動されて、一定程度の成果は上げられたのかなということで、観光事業者のほうからのクーポン事業での成果はかなり、助かりましたということでのお声をいただいたものがあります。そういったことを踏まえて、今年度もその交付金を、第三次の交付金ということで活用させてもらって、今回の補正で入れさせてもらっているんですが、クーポン事業、事業としては金額は大体昨年度と同じ程度になるんですが、率を変えながら、村民の率、県民の率。特に県民の率を落

としながらですけれども、今後を見据えた取組をしていきたいということであるのと、あと地域振興券につきましては、例えば、これは全村民に対して利益というか、還元されるような形で取り組んでいきたいということもありまして、あと飲食業に特化したような内容も含めて、飲食業関係がかなり落ち込んでいる部分もありますので、そういったところの反省ですね、昨年度の取組からの反省を踏まえて、今年度の取組を計画しているものです。

○ 7番（宮城 貢） すみません、ワクチン接種についてですが、6月下旬から始まってくるということで、いつまでこのワクチン関係を終えるという予定になりますか。

○ 住民福祉課長（佐久川紀亮） お答えいたします。

65歳以上の高齢者についてのワクチン接種については、今集団接種である程度進めておりますが、7月15日で集団接種のほうは終わりということになります。漏れた方については、先ほどありましたように、6月下旬から始まる個別接種のほうで高齢者の漏れた方及び基礎疾患のある方に受けていってもらう予定です。それから65歳未満の基礎疾患のない方、ほかの方々については今協議中ではありますが、北部地区医師会と御相談させていただいております。8月頃から、8月、9月頃に65歳未満の

集団接種ができないかというものを今調整中でございます。

○ 7番(宮城 貢) 村行政全般についての会計年度任用職員募集についてですが、ちょっと確認をします。村長の答弁のほうで50名でよろしいですか。3月の定例会のほうでも質問いたしました。募集については総務課のほうで募集関係ということで、その後は、採用されて各課に配属されていると思っておりますが、集落支援員はその予定の人数は集まっているか、もう採用されていますか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長(福地 亮) 答えします。

集落支援員につきましては、私たち企画観光課のほうで採用を扱っております。当初、5名ですね、定住推進集落支援員1名、こちらを採用されて、今頑張ってもらっています。観光推進集落支援員のほうは2人の採用を予定していましたが、今現在、1人となっております。エコツーリズム推進の集落支援員も2人予定でしたが、今1人となっております。あと商工推進集落支援員というのがもう一つありまして、そちらは採用となっております。この集落支援員については、募集を随時かかっている状態で、応募のほうで幾つかありますが、やはり面接とかあとその人の状況とかを判断して採用できなかった部分も幾つかあるというような状況です。

○ 7番(宮城 貢) 2月のほうから募集ということで集まっています。

集まりぐあいが悪いのは待遇面とか給与面、そういう関係がございますか。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） すみません、私のほうからは集落支援員の対応ということで理解してお答えさせていただきたいと思いますが、集落支援員の募集、応募自体は、募集人員に対しては6名が予定でしたので、6名以上の応募はありましたので、待遇面というところはちょっと把握はできないんですが、そういったものではないと思っております。

○ 総務課長（知念和史） 先ほど大城議員のところでも申し上げましたが、規則に沿って報酬額のほうを定めておりますが、現在、この令和2年度からスタートして、元年度までの待遇の面の、報酬の話だけさせていただきますと、その現給保障は行いつつ、休暇の増であったり、また一時金の支給、通勤手当の費用弁償としての支給等、待遇面では会計年度任用職員になって改善しているところが大きいかと思えます。しかしながら、看護師であったり徴収員であったり、今あった集落支援員であったり、まだ募集人員に達していないところがございますので、今後ともハローワーク等を通じて募集のほうを続けていきたいと考えております。

○ 7番（宮城 貢） 個人情報等もあって、これは答えられるか分かりませんが、集落支援員のほうのあれは、村内、村外、特に県外の方

がおられるのかどうかお聞きいたします。

○ 企画観光課長兼プロジェクト推進室長（福地 亮） お答えいたします。

今、定住推進、観光推進、エコツーリズム推進、商工推進、4名が配置をされていますけれども、お二人は県外から入ってきて、今村内に住んで頑張っておられます。あと2人は村内の方、ただ1人は近く国頭のほうから移動して、村内出身だったということもあって、大宜味村内に住んでいます。以上です。

○ 7番（宮城 貢） そのことは、何でこうやって聞こうかと思ったのは、村長のほうで令和7年、2025年には3,200名を村人口の目標があります。こうやって村外、特に県外から来られる方が、今後、住宅環境とか、また子供がいれば子育て支援、あと前事業としてあったと思いますけれども、空き家対策ですね、そこら辺、働く場所等の整備を進める中で、ここで子育てがしたい、誰もが思える村を目指してというか、そういう形の思いの中で、人口のほうも外部から入ってくる人口もありますけれども、中のほうから生まれてくるような形で、子供たちがまた増えてくるような形も、こういう県外から来るような形で大宜味村に住みたい、またそういうことで進んでいくんじゃないのかと思ひまして、今回この点を話しており

ます。実は、佐賀県のほうで、ここで子育てがしたいと誰もが思える佐賀ということで、今、目指してということで佐賀県がやっている。あと出会い、結婚、子育て、一連の流れをサポートする。一連のライフステージを支援するプロジェクトということで、今、佐賀のほうで進めていることをちょっと参考というか、こういう形が今ありますよということで伝えたいと思います。

あと、私のほうの意見なんですが、村長のワクチンについては、すみません、先を切って、リーダー、やってもらって、どんどん動き回るというのもリーダーの一つの流れですから、この件については、私の周りにもその点をおかしいと言う方はいません。ぜひともその判断は、それをやったということはよかったと思っております。以上です。